気仙沼市立津谷小学校校長室だより

よく遊び　よく学べ

# 朝に仰ぐ2024

志高く，自ら考え，たくましく未来を拓く児童の育成

つ　よい子良い子
や　さしい子
笑顔いっぱい　津谷小学校

気仙沼市立津谷小学校
校長　菅原　理恵
発行日　令和６年１１月２６日（火）

## 津波総合防災訓練

昨日は津谷小中学区での津波総合防災訓練への御協力をありがとうございました。一昨年度から中学校の校長先生や学校運営協議会の皆様とは，東日本大震災の記憶が薄れ，小学生は震災後に生まれた子供たちだけとなった今，地域の防災について考えていきたいですね…というお話をしていました。昨年度から本格的な計画づくりしていましたが，今年になってある上学年の子供たちに「(お客様に) 自分の住んでいる地区を紹介してください。」と促したときに答えられない子が何人もいました。「自分の地域や住んでいる方々を知らないでは，いざというときに安全な行動をとれないし，お互いに助け合う『自助・共助』ができない。早く何とかして地域防災を考えるきっかけ作りになれば…。」と強く感じました。今年度はこうして実施できて本当に良かったと思います。保護者の皆様や御家族の皆様始め地区振興会長様や地域の皆様の御協力を得て，各地区とても充実した活動や学びになりました。御協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

### 各地区の活動内容と感想から（一部抜粋）

**活動内容の抜粋**

- 消防士の方を中心に，防災備品の使い方や非常食の試食，防災用 DVD を視聴。
- 地区振興会長と消防団，婦人防災クラブ，民生委員が連携して名簿作成と避難所開設訓練の実施。全員で自己紹介（屋号含む)。備蓄倉庫確認と炊き出し訓練。二次避難所への避難と場所の確認。最後は全員で避難所の片付け。
- 点呼，備蓄倉庫内の確認。会館内の間取り確認と浴室・台所の使い方確認。
- 班ごとに集合して人数確認。避難時の心構え（自助・共助・公助）や担架の使い方，段ボールパーティションづくりと東日本大震災時のコミュニティセンターでの避難所の実際について講話。
- 避難者確認，防災機器点検，非常食試食，小中学生地区内安全点検（危険箇所確認)。
- 「〇〇地区をもっと知ろう！」とうい資料を作成・配付。資料をもとにした防災講話。
- 受付・点呼。備蓄倉庫の確認と備品の使い方。発電機と担架の使い方。東日本大震災当時のお話。

**感想（児童・保護者）から**

- 地区内に危険箇所が多くあることを学びました。災害時は絶対に近づきません。
- 〇〇地区の会長さんのお話を聞いて，自分の安全を確保して自分に何ができるのかを考えて行動しようと改めて考えることができました。
- 〇〇地区に住んでいたけれども，実際にどのような被害にあったのかが分かっていませんでした。今回知ることができて良かったです。
- 津波が来たときに，何処にどの道を通って避難するのかが分かりました。
- 小学生にもできることがたくさんあると感じました。
- 倉庫のどこにどの物品があるのか，地区の方と確認できて良かったです。
- 子供たちは，避難場所も何処にあるのか分からなかったので，今回の訓練で知ることができて良かったです。
- 東日本大震災の話や避難場所のことなど，自分では子どもにどう伝えるべきか悩んでいたので，地区の訓練で会長さんからのお話をいただけて有り難かったです。貴重なお話を聞けて良かった。
- 保護者でも学校の先生でもない，地区の大人の方から教えていただく機会を得てとても良かった。ぜひ次年度も設けていただきたいです。
- 子どもが参加することで，備品点検など地区にとっても保護者にとって考える機会になった有意義な訓練でした。

私もいくつかの地区の様子を見せていただきましたが，地域の子どもや大人が一緒になって防災を考えている様子に，感動しました。そして，東日本大震災のときには，この会館にこうやって皆さん避難していらしたなあ…と思い出し，少しつらい気持ちになりました。これからも子供たちや保護者・地域の皆様と一緒にしっかりと「命を守る行動」について考えていきたいと思いました。

（全地区を回る予定で前日に下見をしましたが，時間内ではとても無理でした。学区の広さを改めて実感しました…。各地区の会館やコミュニティセンターを回ったお陰で，地区の様子や道路などを久し振りに確認できたことはとても有意義でした。『地区探検』は大切ですね。そいえば，今日は２年生が『まち探検』に行っています。）

## ようこそ先輩！

１１月２０・２１日と津谷中学校１年生７名の皆さんが「職場体験学習」として津谷小学校にやってきました。卒業してまだ１年たっていないというのに，みんなとても大人っぽくしっかりとした顔になっていました。校舎内や校地内を丁寧に掃除してくれたり，子供たちの学習を補助してくれたり大活躍でした。廊下を掃除しながら通る人に挨拶する姿に６年生の子供たちは，自分たちもこうならなければ…と決意を新たにしたようです。また，優しく学習の補助をしてくれる様子に下学年の子供たちは「今日も休み時間の中学生の人たちと遊ぶのが楽しみ」と話し，休み時間には校庭でいっぱい遊んでもらっていました。中学生の成長ぶりと小学校の子供たちのお兄さんお姉さんを慕う様子にとても心が温かくなりました。

## 海洋教育こどもサミット

１１月２２日には，４・５・６年生の子供たちが「海洋教育こどもサミット in 気仙沼」に参加しました。津谷小学校は今年度初めての参加になります。小泉小学校との統合を機に「海洋教育」を引き継ぎました。海洋教育と今まで学習してきた「総合的な学習の時間」や「生活科」での探究的な学びを生かしての交流と発表でした。市内や他地域の小学生や中学生と交流します。津谷小学校では６年生の代表６人が「捕れない魚が増えてきた!?　～変化の激しい海との向き合い方～」と題して発表しました。地球温暖化による海水温上昇など気候変動とその海への影響，未利用魚の利活用など堂々と発表しました。参加していた他校からはたくさんの質問や感想が寄せられ，この発表への関心の高さが伺えました。津谷っ子たちは積極的に質問や感想も話すなど，初参加とは思えない立派な態度でした。これからの総合の発表や来年度以降の学習の素晴らしい一歩となりました。